

平成二十九年六月一日発行（毎月一回一日）
書象 第六十五巻 第六号 通巻七三九号

書
象



私たちには「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています

日本書道芸術協会

2017- 6

卷頭言

信山書法の魅力

常任理事 魚住卿山

上條信山先生の御指導には、大きな二つの柱がありました。その一つは古典をしっかりと踏まえることであり、いま一つは現代感覚を表出すことです。

この二つの柱は、まったく相反するものですが、実は毛沢東も同じ意味のことを言っています。それは「古為今用(古きを今の用と為す)」の語で、古いものには新しくするための要素が限りなく含まれており、それを未来に向けて発展させよというものです。

信山先生は身をもって私たちにそれを示すべく、沢山の作品を残してくださいました。私たちが作品を制作し発表する際には、つねに先生の御指導をいたしました。しかし、先生には指導する人はありません。先生は御自身の制作においては、つねに孤独との戦いであったのです。

先生の作品は発表されるたび新鮮で、現代感覚が溢れています。そして、全ての作品に共通する清明な格調は、古典を用いることより立ち上げられています。それがいかなる古典であるかを、若かった私たちは目を凝らして見つめたものでした。

その一例となるのが、図の「不愧于天(天に愧じず)」(一九七八年日展、佐久市立近代美術館蔵)の大作(二×八尺)です。そこには書に対する先生の信念がまず語句として発せられ、強靭なる気迫が北魏張猛龍碑の俊跋な造形と、顏真卿の屋漏痕書法によって余すところなく打ち出され、長い書の歴史の最先端に凜然として存在しています。



一九七八年 上條信山先生書「不愧于天」

先生の運筆には、とてつもないスピードと迫力がありました。リズムあるスピード感をもって古典の造形に対峙すること、どうやらここに先生の言われた現代感覚の糸口がありそうです。

基
本
【
基
本
】

宮
島
詠
士
先
生
書



杏村又爪雪所

6月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付
これは石に刻られた文字の拓本です。白い部分を墨書してください。

・腕の動きを意識して
大きな運筆を心がけ
る。

・文字に大小をつけ、
筆脈を意識すると精
彩に富んだ表現にな
る。

・文字が明るく見える
ように、点画の接し
方にも気を配りたい。

「觀」

人

「自」

行

「行」

玄
奘

玄

奘

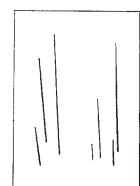
玄
奘

〔奘〕

〔玄〕

- 筆先の弾力を十分に生かして伸びやかに書く。
- 直線的な運筆、メリハリのある用筆で力強く書きたい。
- 文字上部の余白が広く見えるように。

・全体構成



・墨量は少なめに書きはじめ三行目で墨をつける。

・のびやかで変化のある線質を工夫する。

「あらな（那）く」

「あ（ア）」

「海は（者）らの」

「ゆた（多）ふ」



おほうみ（三）に（尔）しま（万）もあらな（那）くに（二）海ば（者）らの
たゆた（多）ふな（那）み（三）に（尔）立てる白雲
（万葉集卷七）

6月20日必着
出品券を貼付

「白雲」

仮名規定【仮規】（級位）

中村巍山先生書

- ・三字、四字、五字連綿の練習を積んで、リズムよく書きたい。
- ・行の中心を意識して、のびやかに。

「ほ（本）とと（ゝ）
き（支）」

「か（可）」

「み（み）」

「よ（よ）」

「ね（ね）」

「ひ（ひ）」

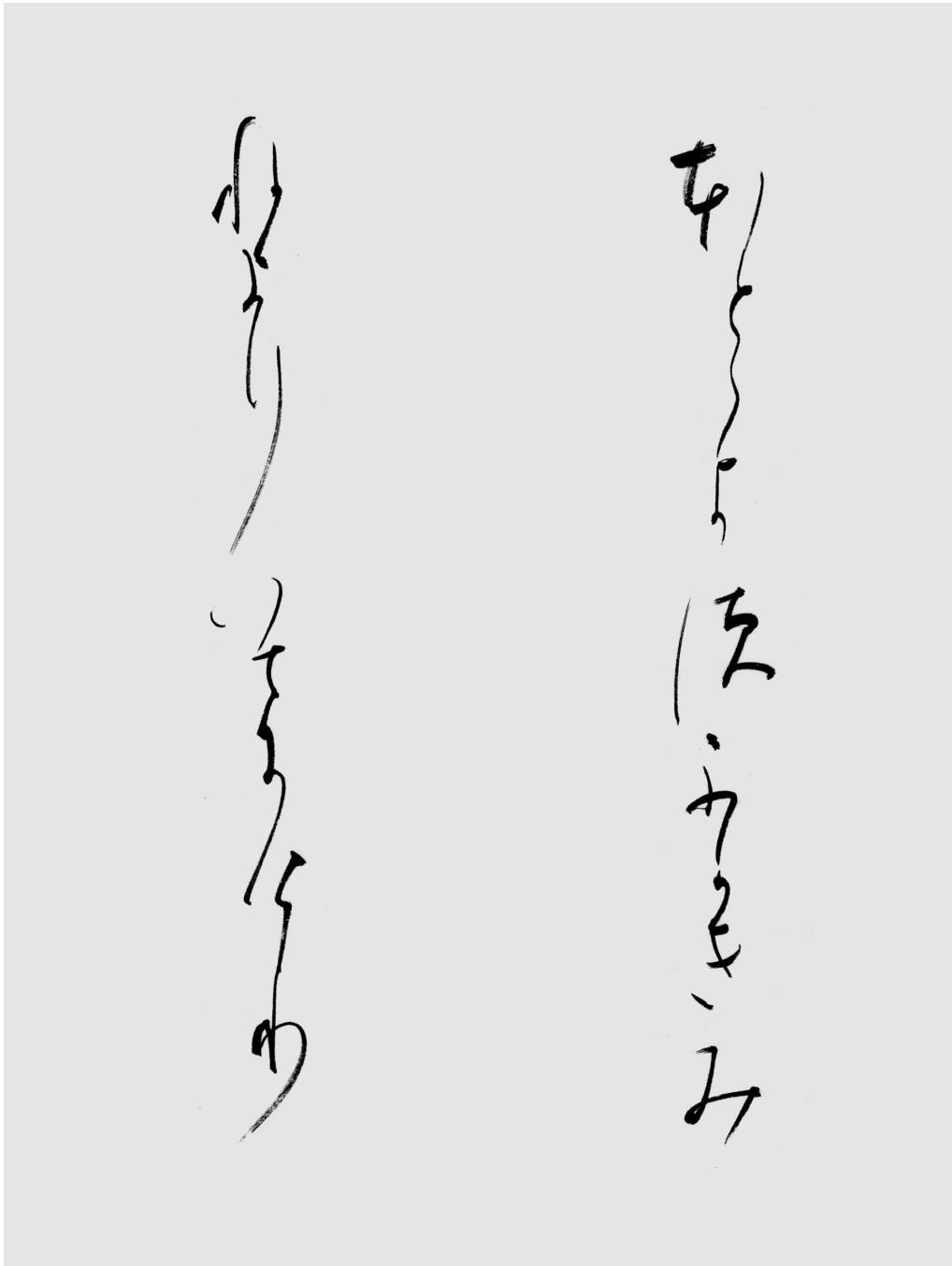
「いで（い）」

「で（で）」

「り（り）」

「け（け）」

ほ（本）とと（ゝ）ぎ（支）す（須）ふか（可）きみねよりいでに（尔）け（介）り（利）
(西行法師 新古今和歌集)



洛陽ノ女兒
顏色ヲ惜シミ 行々落花ニ逢ツテ
(劉希夷詩「代悲白頭翁」の一節)
長ク歎息ス。

6月20日必着

出品券を貼付
入選作のみ発表します

漢字は力強く。大小
長短の形の変化にも
気をつける。

タチシタ
長
洛陽

・漢字の力強さに負け
ないようしつかり
と書く。ハライの方
向にも注意する。

鳥
啼
山
更
幽

鳥啼いて山更に幽かなり
(王籍の句)

書き方のポイント

- ・「啼」の縦画を少し傾けてしっかり引く。「更」左右の払いを伸びやかに。
- ・文字の大小長短に注意。
- ・「鳥」「鳴」「幽」はP14参照。

条幅随意【条隨】

杉山曉雲先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會
稽山陰之蘭亭脩禊事也羣賢畢至
少長咸集此地有崇山峻領
曉雲曉雲

永和九年。歲在癸丑。暮春之初。會于會稽山陰之蘭亭。脩禊事也。
羣賢畢至。少長咸集。此地有崇山峻領。

- ・王羲之蘭亭序（張金界奴本）の臨書です。
- ・文字の大小・字間等は原典と違つて揃えています。
- ・墨量の変化、流れなど筆意を加えてください。

詩家問度

中學一年規定【學毛】

石丸曉風先生書

社個人會

中學二・三年規定【學毛】

二瓶曉風先生書

小学五年規定【學毛】

高瀨霞山先生書

學問
實行

小学六年規定【學毛】

柳澤玄嶽先生書

學問
實行

小学三年規定【學毛】

久保研山先生書

毛筆

小学四年規定【學毛】

露崎玄峯先生書

毛筆

小学一年規定【学毛】

寺尾礪雲先生書

A large-scale calligraphy work featuring the characters '學' (xué) and '毛' (máo). The characters are written in a bold, expressive brush style, with thick black ink strokes on a light gray background. The character '學' is positioned on the left, and '毛' is on the right, with a small vertical stroke separating them.

小学二年規定【学毛】

渡辺華雪先生書

A large-scale calligraphy work featuring the characters '學' (xué) and '毛' (máo). The characters are written in a bold, expressive brush style, with thick black ink strokes on a light gray background. The character '學' is positioned on the left, and '毛' is on the right, with a small vertical stroke separating them.

真の知識の泉は書物ではなく生活であり経験であ
り、そして行動である。

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範一段位)

上條信山先生書

真の知識の泉は書物では

なく生活であり経験があり

して行動である。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶嶽風先生書

人間関係が希薄になつてゐる今、

この時代に最も大切なことは、思

いやりである。

中学規定【学硬】

中村巍山先生書

当地では新緑の中にホトトギス
が鳴きはじめ、麦の黄波の風景
はまるで絵のようだ。



中学二・三年

行書では筆脈を意識し、運筆に緩急をつけてリズムよく書く事を心掛ける。墨継ぎは一字字につき二回を自安に。始筆終筆では丸味を帯びた筆使いを意識する。

左の字句を半紙に書いてください。
表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

出品券を貼付して下さい。

小・中学生随意課題【学隨】

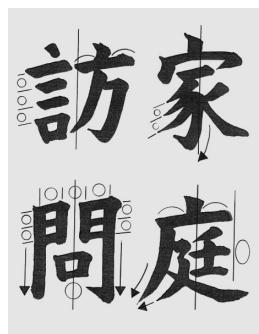
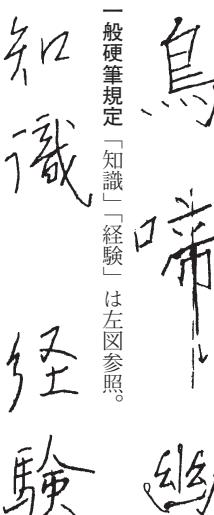
一小 ・二年学	生
必要	生
中 学	三 ・四年学
愛 情	思

手本解説
基本
「村」「又」「所」は左図参照。

・漢字条幅規定 「鳥」「啼」「幽」は左図参照。



学生部規定
知識 経験



中学一年

「家庭」の左払いは徐々に立てながら払う。
「家庭」の三画目は立て気味にしてバランス
スをとる。「訪問」の偏の横画は平行、等
間隔にする。「訪問」は縦横画の間隔を
意識する。「口」の下部を広くとる。

表やグラフを使って、調べたことを分かりやすくまとめ、発表しよう。

名前
小室墨汀先生書

小学二・四年規定【学硬】
支部 年 級段

あいさつやお礼の言葉を

気持ちをこめて、ていねいに書きました。

名前
小渕石峯先生書

小学一・二年規定【学硬】

支部 年 級段

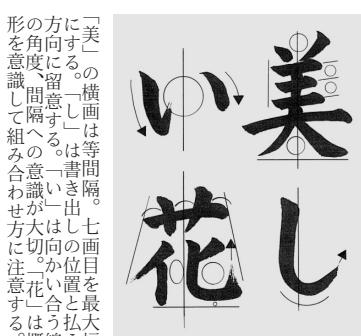
か	に	あ
か	き	め
つ	れ	の
た	い	あ
.	な	と
なまえ	に	、
支部	じ	そ
年	じ	ら
きゅうん	が	

*出品券を貼付して下さい。

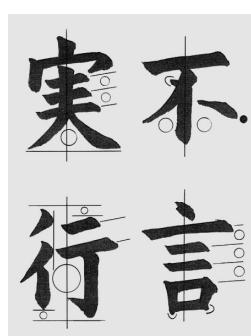
一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用のこと（小学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと（鉛筆の大きさ↓たて18cmよこ7cm小一・二課題↓2.1cm巾のマス目）の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1cm巾の野線を引く。



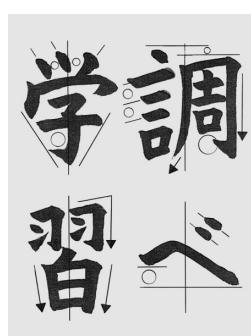
小学二年



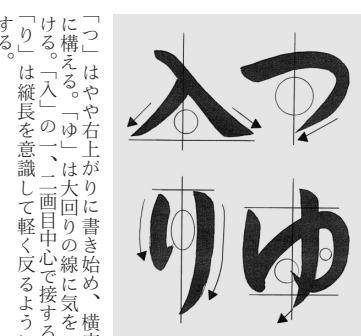
小学四年



小学六年



小学五年



小学三年



小学一年

「か」は中心で方向転換し次画へのつながりを意識してはねる。最終画は丸味をつける。「さ」の二画目は横画を二等分し、「一」、「三画目の角度に気を付ける。

「不」は、「一」二画目の接点を中心いて、三画目の始筆を少し出す。「言」は二画目三画目を最大幅にする。「実」の左払いは横画と交差するまで垂直。「行」の左払いは横画上下に並べ、左右の組合せに注意する。

「調」の一画目は左に書く。三画目は右度の位置にも注意。「学」は一回りの羽画の左角点立てる。八画目は立ても気をつける。「習」は三画目も立ても気をつける。八画目は左角点立てる。八画目は立ても気をつける。「行」の左払いは横画と交差するまで垂直。「行」の左払いは横画上下に並べ、左右の組合せに注意する。

古典研究シリーズ 408 【古典】

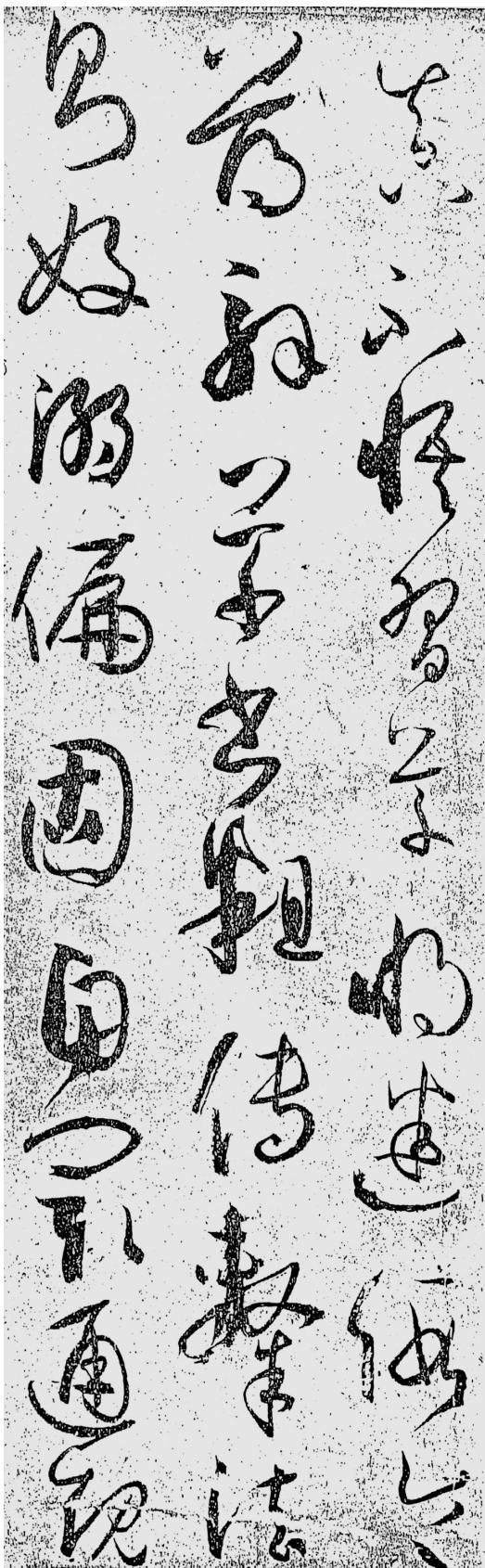
書 譜 しよ ふ

唐六八七年

孫過庭 (六四八?~七〇三年?)

書き方

- ① 文字数を間違えないで出品して下さい。
 - ② 続き文字でなくとも構いません。
 - ③ 落款を入れて下さい。
 - ④ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。
- (編集部)



自由闊達な躍動感のある草書
今回が書譜の最後になります。半紙に三行程度で作品風に仕上げてみましょう。

今月のテーマ 写実的臨書 小字 (十五字以上)

孫過庭

孫過庭

孫過庭

〔艸文〕真不悟、習草将迷。仮令薄解草書、粗伝隸法、則好溺偏固、自闊通規。

松本市美術館便り

上條信山記念展示室 平成二十九年五月九日(火)～九月三日(日)

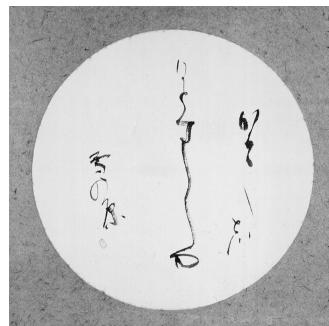
アンバランスの中のバランス

書作品には、偏や旁がくつついで離れたり、傾いている文字のものや、行間の広さがまちまちに歪んでいるものもあります。部分で見ればアンバランスとも言える形態や構成を、ひとつの空間として捉える時、絶妙なバランスを取っていることに気づくことでしょう。

今回、上條信山先生作品を中心的に、宮島詠士と日下部鳴鶴の作品も展示します。アンバランスの中のバランスから生まれる響きや余韻、美しさ、作家による表現の違いなどをお楽しみください。

上條信山記念展示室展示作品

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	上條信山	心月		34.2×67.8	
2		和而不同		69.7×69.5	
3		堅勁	昭和44年 (1969)	132.2×60.4	改組第1回日展
4		白居易詩「賦得古原草送別」	昭和52年 (1977)	56.0×102.0	
5		一怒一老	昭和62年 (1987)	53.2×154.0	
6		超脱	昭和54年 (1979)	134.0×69.0	第23回朝日二十人展
7		玄遠	昭和61年 (1986)	73.5×135.0	第30回朝日二十人展
8		大方無隅	昭和58年 (1983)	138.7×137.6	松本個展
9		潔己是心豪	昭和38年 (1963)	68.5×134.8	現日本書壇大家展
10		虚心	昭和53年 (1978)	132.5×65.3	第17回書象展
11		戴叔倫詩「三閭廟」		138.5×51.3	
12		月在天心	昭和51年 (1976)	67.0×233.0	第38回謙慎展
13		天風拂顔	昭和60年 (1985)	68.1×67.9	第26回有山社展
14		野沢凡兆のうた	昭和61年 (1986)	66.6×66.6	第30回朝日二十人展
15	宮島詠士	孝者百行基		136.6×33.0	
16	日下部鳴鶴	七絶十二首屏風		各135.4×51.8	



上條信山「野沢凡兆のうた」



上條信山「超脱」



宮島詠士「孝者百行基」



日下部鳴鶴「七絶十二首屏風 部分」

常設展示室Bで開催中（7月23日まで）の「新収蔵作品おひろめ展」にて、上條信山先生の書壇デビュー作『臨張猛龍碑』や宮島詠士先生の大字作品『南無大慈大悲觀世音菩薩』『南無八幡大菩薩』なども展示しています。記念展示室と併せてぜひご鑑賞ください。

第七十九回 謙慎書道会展（受賞作品）

梅花賞

江上玄光



文參音玄光

春興賞

百表要之在身ノ瓦斯ノ醉上立候ニ貴於酒ノ間シテ久裏草邊ノ月夜ノ豪士ノ前風流者入テ居テシヤ他入後夫子ハ紅顏於ハ少年草臺ニ馬ノ走ラセテ今般ノ著ノ文章獻納人無歸殿歌舞添當人武陽ノ庭君ノ由ト謂ノ是事ノ如シト寧ア知テキ革動ヲ最度一趙ニルノ血本思ナ驚ノ腰身ノ某ノ三氣宮ノ秋季總向力ヒテ用ノ火炎ノ怒ノ蓋ノ誦ナシテ良序ニ云ルノ何ノ日ノ金錢放教シテ題ラシ若耶溪ノ傍林道一女史多病氣ノ隔テ人ト共ニ詰メ日ハ新穎ヲ顯テシテ水底ニ闘テカニ風ハ李叔子銀シテ空中ニ舉テ岸上誰万客一過良序三立雪陽ノ歌大樂體善哉ニ漸キ入りテ未ル名此里見テ御園御室シテ新陽山木ノ四

芦川臨泉

春興賞

酒井溪月

平生愛說驚眩湖扁舟未放神先徂前年遇此夜已半宵；寒夢依孤蒲今年端午客美々綠船百棹笙歌俱傳聞此地更繁盛萬花如海龍所都我來江郭惟秋葷但看湖影涵清虛輝紋細蹙晚風交疊光橫搖餘霞鋪車帆乘；送帰客畫葉枝；捨晚魚紅蓼葉還沙漱出日躋沒處還山無外天如此極也賞管絃底用矜美歎徑思手築一茅舍時半補種十天渠人間俯仰足憂患眼前清境苦須臾了百之名事於雅集卷深月

春興賞

作館宴、燈
招五代、客

上 惠 条 香

何事子特凌

些在你一念

夜思千里

霜鬢的羽

是年

春興賞

高直清在香

推薦顧問賞

秋葉景華

特選謙慎賞 二木廣山

家
教

廣山

中村秀華

結城正憲

六根清淨覺經音七尺金剛杖自經身落霧中渾不覺玉層人路入雲行徐裕
當年來海外訪仙採藥不歸一腳踏平遺蹟要尋東山工唯餘太高程薄囊攜去
加神仙手保振衣自空然莫能此行無妙語驚人猶可怨驚天行揚揚朝來點片
霞天成我路曲悠然名山石室書堪秋更擬立言成一家雲樓霧閣席無溫冷寢
惟思入夢魂六散後乘東海曉石洞千外薄紅舉丁目之歲參禪富士山裕考草

搖落傷年暮自念遠心多事吟斷鏡月照夢飛沉古不
舍夙久陳蔓忙露深人用如盃夜地更清砧倍急曾
傷魂端憂復至令未諳滄海路何憂玉川學隱微薰年
暮雲色白帝陰迷知露麗意不減歌今綠正憲人

西

草長鶯啼花滿對

江郎

特選謙慎賞

桑島秀雪

萬苑美臺楊柳新葉秋清
唱不勝春只在後宵西江月
曾照吳王宮東人——秀雪

特選謙慎賞

早乙女墨光

楚山不可極歸路但黃條海色晴看雨
江聲夜聽潮劍留南斗近書寄北風
遙為報空潭橘無媒寄以少橘

星光

特選謙慎賞

長田詠李

沒點正君勿庶頗出將頻宣詞才不世雄略動如神政簡移風遠詩
清立意新層城臨暇景絕域望餘春旛尾蛟龍舍樓頭燕雀馴平江
動易天闊封浮秦帝念深今聞軍鎮遠算繡花羅封蝶蝶瑞錦送麒麟
辭第輸高義觀國懷古人征南多興堵事業周相親

許李書贈

特選謙慎賞

濱野清遠

好雨知時節當春乃發生隨風潛入夜
潤物細無聲野徑雲俱黑江船火獨明
曉看紅濕處花重錦官城

清遠



玉山雅集圖一卷淮海張渥用李龍眠白體之研作也玉山主者為岷立顧瑛氏其人青年好學更通文及音律鐘鼎古器法書名畫品格之純性尤輕財喜客海內文士未嘗不造玉山所以風流文彩出乎筆流芳尤為傾倒故至正戊子二月十丈九日之會為諸集之雅冠鹿皮衣紫倚坐案而伸卷者鉛雀道人會稽楊維楨也執筆而倚者始為翡翠屏也

丁蜀之奇雅賞

特選謙慎賞

原口華煌

君宦終何路德像心目寃隱養錢胡乞營無意倚幕蠻撻
空人不歸一雪目忘財衣盡宦無心下長應笑令威日帝朝
驚浪乘陽翼乘雲多苦因生隸苟世路狹以君嚮懷同轉
浪帆虛帶白雲客船難往小客得便將軍幸煌

特選謙慎賞

柳田志華

昔人已去黃鶴三來シテ去り此地空シテノ餘人黃鶴後黃雀
一タビ冬コト復タシテ冬タタキ白雲千載空シテ懨ハタハタ吹ハタハタ晴川聲
タリ漢陽カナガヤ對芳草蓋タリ鷓鴣カナガヤ日暮鶯カナガヤ月カナガヤ
レシテ雲シテ是シテ鵞鴟カナガヤ江上カナガヤ愁工シム忘華カナガヤ愁

特選謙慎賞

神谷董節

去年花叢此陵道美人何寡拾瑤草今年草綠姑蘇臺美人
此時花六來風吹翠被香不定流波蕩漾光輝但不遂行雲
作飛雨夢裏銘華學神女坐久烟霞拂袂生回眸愁向空
中舉水遠山長不見君空閑對上黃鸝語

董節

第56回 書象展 会期中行事日程表

同会期にて1階「日本の書展」にも多くの書象会員作品が展示されています。

6月15日（木）午前10時	開展
6月16日（金）午後1時	ギャラリートーク 山口啓山先生
6月17日（土）午後2時	ギャラリートーク 杉山暁雲先生
6月18日（日）午前11時	第48回全国学生書道展講評会（学生展展示室）
午後1時30分	支部長講習会（3階研修室）
午後4時30分	五人展インタビュー
6月19日（月）午後2時	ギャラリートーク 中村巍山先生
6月20日（火）休館日	
6月21日（水）午後2時	ギャラリートーク 樋口玄山先生
6月22日（木）午後2時	ギャラリートーク 虎井暁鍾先生
6月23日（金）午後1時	実技講習会（3階研修室）
6月24日（土）午後2時	ギャラリートーク 二瓶嶽風先生
6月25日（日）午前10時30分	読売書法展添削会（3階研修室）
午前11時	第48回全国学生書道展講評会（学生展展示室）
午後4時30分	表彰式（第1室）
午後6時	閉展



日本の書展茨城展

書家3人席上揮毫

個性豊か、歓声とため息

水戸市千波町の県民文化センターで15日に開幕した「第44回日本の書展茨城展」は、茨城書道美術振興会常任理事の、高瀬霞山さん、鶴見香萩さん、山村青雨さんの3人が席上揮毫に臨み、個性豊かに筆さばきを披露。取り組む観客が一心に見つめる中、書に向き合う心を見せた。

緊張感が漂う静かな会場は、筆を置く音、運ぶ音だけが聞こえ、3人が書き上げると歓声と感嘆のため息とともに、室内に墨の香りが広がった。希望に溌々と字を運んだ高瀬さんは、「湧泉の2文字を日本刀で切るように」氣迫のこもった運筆でした。最後の一筆は先端の余韻を出そうと、自然と出たという気合の一声とともに締めた。「人前で書くことがなく慣れない環境だったが、紙に挑む気持ちで臨んだ」と話した。

日本書展茨城展席上揮毫
4月16日の茨城新聞に高瀬霞山先生の席上揮毫の記事が掲載されましたので紹介します。

第五十六回 書象展受賞者

布平林那滝塩崎齋鑑五赤 施川田須本川山藤田嵐羽 杠華翠彩華冠芳壺杉惠溥 華凜山禾光泉葉進月芳山	《獎勵賞》 十三名	長志佐齋小川上春緒石 屋垣藤藤林島條日方沢 佳嘉茜盈鐘映哲皓愛秀 影子沙月仙雪山靜節庭	《桜花賞》 十名
--	--------------	--	-------------

石石荒 原井木 楚菁千 峰峰晶	《特選》 三十九名	三牧中千武嶋齋小小菊加影大岩 浦野島葉次上藤林林地藤山澤橋 徑蘭泰華壺江彩富智惠芝浜輝祥 石庭蕙照晶茜節靜燁爽華名節風	《書象賞》 十四名	余結 語城 元正 祥憲
--------------------------	--------------	--	--------------	----------------------

宮水松松牧本畠野永坪高閑鈴杉周塙小倉熊熊木北北菊川神鑑門大
下野村岡野間田中田井橋 木本藤谷島谷野坂下原川池澄谷上脇村
武經恭馨玄双穂映桃名麗窓杏統文翠華聰珠吳頌光高瞭韶董小華玻
浩霜月秀勝葉苑芳林扇湖真靜華界桐凌月天碩山水月月泉節楓杏玉

岩岩今今井稻市井池五飯安有新阿淺青 成佐井井上葉川沢野嵐島藤賀井相見木 碧千希華珠京壯梢愛啓泰雅蒼谿香康響 舟苑紅遙映春一琴麗心雄楓玄祥節絹泉	《秀作》 二七名	吉山山矢森務宮 田中田作台本 麗孔英麗霽泰峻 楓心葉川華煌靜
--	-------------	---

小小古小小木河川川神鑑金金加角加尾小岡岡大大大大内内臼
林西賀池池内田島保山田子子森藤崎美関沢部田前塚高島川村田田
華禎晨峰高理邦星麗禮心葉沙章征泰節瑞通葵鳳琇貞夢敏美静名嬉
蓉子雪弦風映楓峰爽光花蕉泉浩光帛真泉明葉吟峯翠宵美子琳芳子

多田高高高高高染曾瀬諷鈴鈴菅杉庄下島澤佐佐佐坂齋斎小小
田幸橋橋橋橋嶋谷根野訪木木田山司村崎 藤孝間口藤藤永森林
安智里淡壺珪詠愛圭愛鶴珀蘭千小煙朴香慧娥江美蒼節凜華泰大天
佐乃峰奈愁登芳草光苑皓汀舟光静琳光山織香舟蕙子峰苑遊駿象工苑

星古二広平姫原林林早濱根西西長中内東土デ津續千田田田館伊
野屋木松田野田 坂田津谷 島川藤郷井ビ吹橋良村中中野達
華葉廣蘭黎千晶泰晶美綠浩風照天寿秀君雲ト清華笑光満穗紗鳳潮
逕明山節湖節山吟光紅風美聲靜意月月子峯山天穗子帆珠暉虹節虹

会田青峰	《褒状》 二七〇名	吉吉横横山山山山森百百村向宮宮御三丸間真前本 田池山山本田崎口口井瀬瀬田井澤入柴浦山宮島田間 美採沙京亞成憬智紀京涼寿春伶晃杜英久美花玄薦李 山舟春節子子泉洲光仙香香嶺那静心遠子子穗穗丘葉
------	--------------	---

岡小大大大太太大大及遠遠梅內内氏上岩今井伊石池飯飯安荒荒阿安赤青
笠田原輪山村谷田田島形井川藤藤原田川原原田井原藤橋谷田島藤木川井部達井木
映ひ寿妍泰玲志荷翠涼凜翠李翠華溪康梅白澄春光知安碧天莉泰友芳遙剛曉惠由
華り鳳龍咲江苑玉逕華玉花雪雅聖茜蟹惠麗葉海蘭子夫峰幸杏松子桐霞節峰光

是小小小小小兒小鄉黑栗木岸木川川刈蒲金加加加片鹿小小落小奧小
宮常山室山松林林林玉島崎原下内上井間谷山藤藤藤岡島保野野沼合黑原川
麗勇光文白訪鳳水真泰泰碩李美葉洞優濤靜章見桑恵歌珠未虹和蕉宗無光終葦
陽峯竹子帝泉雪煌志壽泉山心幸子草舟華石映峰紹軒子月松華芝溪苑心双綾花仙

武瀧高高高高曾閔須鈴鈴鱸鈴杉杉白白下下島柴重三佐佐佐佐佐笛佐酒斎齊齊
居口村橋橋橋城根根田木木木山崎倉木村平田田盛杉野藤藤藤川間井藤藤藤藤
弘加名葉耀桜優彩花美嶺良桃華光翠貞千沙成夕春耀千紅玲窓梗靜敏桃典泰菖雅
峰代琇流玉嵐希楓逕子峰龍娟優穗嵐竹惠桜苑節信岳代流窓心紗章子雪子城月虹

初長萩野野新西西西中中長中長長虎豊豊友戸遠手坪土辻塚田田竹竹武竹
谷津川野木司司田嶋川垣村村田島岡江本田田野田峰塚内屋本村中中政野田田
壺翠華泉陽快明洋濤光錦有春汀萩荑白溪大晃葉旭櫻好廣蓮露陽久麗華紅翠節逕
博玉扇梢子風秀一花風節希桃珠泉英羽風慶翠園蓉庭山峯舟紗生美竹慧敬紗峰花

宮宮峯南南溝水三三丸真松町樹牧牧前本堀保古藤藤藤藤藤廣廣平原林濱花花
崎枝村野方口野神浦山殿澤田田田多米野河原山牧田崎音本澤垣吉形岡
晟華伊晨清道泰五李欽和裕輝光愛恵名千康靜松翠沙隆江琳眞祥華葵春佳感濤豪
光鳳凰子窓玄幸恭福風造子枝子硯鈴風琴子峰成菜邑理雪翠舟子己絢光晴蓮心山峰

小久北川金金梶鹿榎上伊井磯池渡渡和六吉吉横横湯山山山山柳谷森森百望村
保ノ暮田園田子澤原島谷原吹上村田辺部田川見崎山山淺田田下崎口沼龜井瀬月本
千加京結康佳セ天あ章律玲ち晶桃花華昌汀静仙紗葉裕露桂奏幸秀硯京真白清萌
容子秀女之子子虹か敬心翠江影幸天葉幸茜邦丈舟苑靜香耀繪靜光春琴花水実季

小大井稻荒風和渡若吉吉湯森村宗宮美松前藤平針原根西伊高高菅嶋宍佐小小
田垣石上森井仁辺井村澤坂野形本部澤島牧野寿津澤達松橋杉原澤戸藤森嶋
白慈美弘敦惠伸珠静閑真啓麗谿泰茂孝重喜露益美知康穂優節康桂祥晟靜
露苑子子優柳子美江久鶴雲奈光吟彩史雄子稜子子之香美清波実子惠春苑玉幸

若村松松久長橋中永土玉高征島渋小栗栗倉久保山本山島末川爪原井梨野田谷林原田谷園保田脇藤
穏奈禎晴大美桃宏靖寶麻弘達桃和晴由嘉良紅晶里里空穂子菜地靜芳恵子春子彦紅弘香子男正川真子緒紗

- 8 参加申込 7月14日(金)までに同封の「払込取扱票」にて費用をお振込みください。
 ホテルは3~4人の部屋です。同室希望者のお名前をお書きください。
 会員以外の方は、書象会本部 ☎0422-53-9743 へお問い合わせください。

9 日 程

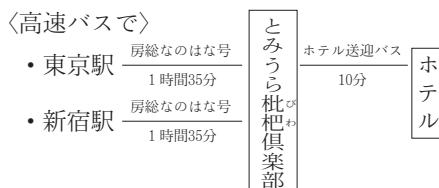
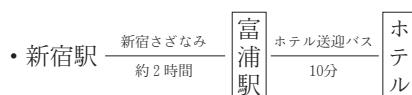
【9月2日(土)】	12:00~13:00	受付、更衣室で着替えをすませ用具を持参の上、開会式会場へ集合。
	13:00~14:00	開会式 1F ロイヤルホール
	14:00~17:00	鍊成
	17:30~20:00	夕食(バイキング) 2F 海風
	20:00~23:00	任意鍊成
【9月3日(日)】	6:30~8:00	朝食 2F 海風
	8:30~12:00	鍊成
	12:00~13:00	昼食 2F 海風
	13:00~17:30	鍊成
	18:00~20:00	宴会 2F 大房
	20:00~23:00	任意鍊成・かたづけ
【9月4日(月)】	7:00~8:30	朝食 2F 海風
	8:30~10:00	鍊成作品鑑賞の会、閉会式
	10:30	解散

10 変則参加の場合の費用計算……【1泊の人の費用】

下記A, B, C, D, Eの内、必要な項目の費用と17,000円(指導料・鍊成会場使用料・運営費)の合わせた額となります。

A 2日(土)宿泊費(一泊・夕朝食付)	14,000円	例(2日宿泊で3日の昼食を必要とする方)
B 2日(土)夕食のみ	5,500円	
C 3日(日)昼食弁当代	2,000円	A+C+17,000円
D 3日(日)宿泊費(一泊・夕朝食付)	15,000円	
E 3日(日)夕食のみ	7,500円	

11 交 通 〈電車で〉……9月2日(土)の場合



- 12 前泊取扱 遠方から参加される方のために前泊が可能です。ただし、書象会では取り扱いませんので、利用者が直接ホテルに申し込んでください。また、前泊分の宿泊代の清算も直接行ってください。合宿経費と混同なさらないようお願いします。

平成29年度 書象会夏季合宿鍊成会のご案内

書象会研修部

今年の夏季合宿は、千葉県で開催されます。会場は南房総富浦ロイヤルホテルで、昨年と同様、リゾートタイプの豪華なホテルです。

海と森に囲まれた自然豊かな環境の中での合宿なので、身も心も癒されながら書技術の向上に励むことができるでしょう。

また今回より、部門と鍊成内容に変更点がございます。これまでの「半紙入門」と「条幅入門」が「書象誌半紙課題」と「信山流条幅」になります。毎月発刊されている書象誌の半紙課題と条幅課題の鍊成が目的で、初心者からベテランの方まで懇切丁寧に指導いたします。

夏季合宿は、書象会が誇る夏の一大イベントであります。このように書友が一堂に会す鍊成会の実施は昨今の書道会でも珍しく、貴重な機会といえるでしょう。皆さまお誘い合わせの上、是非ご参加くださいますようご案内いたします。

記

1 期 日 平成29年9月2日（土）～4日（月） 2泊3日

2 会 場 南房総富浦ロイヤルホテル

〒299-2404 千葉県南房総市富浦町多田良1212 TEL 0470-33-3811

鍊成はホテル内で行います。

鍊成用具等を「宅急便」でホテルへ送付される方は1日着の「期日指定」とし、宛名（ご自身の氏名）の上に「書象会」と記入してください。

3 定 員 200名

地元会員の便宜を図るため、通いの鍊成も可能です。ただし、2泊のうちの1泊は必ずホテルに宿泊することを原則とします。

申し込み期日内でも定員になり次第締め切れますので早めにお申し込みください。

4 費 用 46,000円

ホテル宿泊費、鍊成会場使用料、指導料、昼食弁当代、運営費などを含みます。

ただし、手本代は含みません。また、通いの人は費用が異なります。10の変則参加の場合の費用計算を参照してください。

5 指 導 者 書象会の幹部の先生方が小グループ別に懇切丁寧に指導にあたりますので、初めて参加される方も全く心配されることはありません。且つ、十分な成果を得ることができます。

6 部 門 「書象誌半紙課題」…半紙。「書象誌」の中の楷書や行書、仮名の半紙課題の練習。

「信山流条幅」…半切。「書象誌」の中の漢字条幅、隸書条幅仮名随意の課題の練習。

※以上2グループについては書象誌8月号と9月号を持参してください。

「書象展」…全紙1/3・半切など。様々な書体でご自身に合った効果的な作品作りを学びます。初めて展覧会に出品する方には最適です。

「謙慎展A」…謙慎展評議員・一般公募出品サイズ。本格的な条幅作品の作り方を学ぶ基礎鍊成。調和体・仮名を含みます。

※以上2グループについては本部で手本を用意します。

「謙慎展B」…謙慎展理事・評議員・その他の書展出品者。

「日展」…日展出品者。

※以上2グループの手本については各自でご用意ください。

※参加申込書には謙慎展の場合AかBの回答もご記入ください。

7 持 参 品 書道用具一式、毛氈の下に敷く広めのビニールまたは古新聞紙、その他各自必要なもの。頭痛や擦傷などの簡単な薬は係が用意しております。なお会期中に「玉蘭堂」「鷺毛堂」の書道用品業者出張販売を予定しております。

第45回日本の書展 (本会関係出品者)

《東京展》

会期 平成29年6月15日(木)～25日(日)～20日(火)は休館日

会場 国立新美術館(港区六本木)

○現代書壇代表(巡回)

市澤静山 田中節山 内藤望山

○委嘱

山口啓山

○招待

大澤梢光

末永暁華

田中珠光

松田幼山

秀抜

青木橙華

古賀沙苑

鈴木花照

露崎玄峯

宮本耕成

荻田光山

恩田静月

鈴木春鳳

寺尾碩雲

柳澤玄嶽

虎井暁鐘

渡辺華雪

久保妍山

関香風

成瀬恵苑

小山春石峯

竹内墨洋

藤岡月華

上條恵香

中内真意

橋本幸楓

小泉壘藍

芦川臨泉

安藤樓嶽

高橋白羊

大島皎山

斎田昌静

大場香峰

藤森大節

柳澤雪葉

柳澤霞

岡本秋麗

中野青山

池口聖嶽

一久詠香

窪田溪苑

関澤劍山

日比野照悦

○招待

畠中高山

藤澤珠玉

青柳緑水

小島秀山

小室小汀

松本小光

柳澤清

柳木研妍

児玉葉雪

小林皓山

齊藤優月

竹本谿山

平川華凜

福山恭江

美齋津嶽心

余語元祥

米倉花光

○秀抜選

酒井渓月

宮崎京楓

出来華泉

松井小漱

日比野汀華

長谷川石心

横川景城

今井翔山

伊藤西光

○中部展

会期 平成29年6月2日(金)～4日(日)

会場 大阪国際会議場

○招待

畠中高山

藤澤珠玉

青柳緑水

小島秀山

小室小汀

松本小光

柳澤清

柳木研妍

児玉葉雪

竹本谿山

○秀抜選

酒井渓月

宮崎京楓

出来華泉

松井小漱

日比野汀華

長谷川石心

横川景城

今井翔山

伊藤西光

第四十九回全国学生書道展(誌上展)募集規定

主催 日本書道芸術協会(書道会)

(書道会)

応募資格
作品寸法
出品点数
語句・書体
出作品料

大学生・高校生・中学生・小学生(幼稚園児の出品も可)
半紙 33・3×24・3cm 但し対幅・横書は認めません。
一人何点でも出品できます。

語句・書体自由(月例の課題でも可・表装不要)

※送金は同封の払込用紙にて、郵便局より払い込んで下さい。

平成二十九年七月二十四日(月)～七月二十八日(金)

※七月二十八日(金)必着のこと。

〒180-0001 東京都武藏野市吉祥寺北町四-三-一六

全国学生書道展事務局

TEL ○四二二(五三)九七四三

作品各個について中央審査員が厳正公正に行います。
金賞以上は氏名を、又推薦賞以上は作品を書象誌に発表いたします。その他は賞状賞品の発送をもってかえさせていただきます。なお特別賞受賞作品は、来年の第五十七回書道展(国立新美術館)に於いて展示いたします。

審査の結果優秀なものに次の賞を授与します。
◎個人賞
信山先生記念賞……副賞・賞状
日本書道芸術会大賞……副賞・賞状
日本書道藝術奨進大賞……副賞・賞状
全日本書道連盟奨励賞……副賞・賞状
推薦書象賞……副賞・賞状
選賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
◎団体賞
最優秀団体賞……副賞・賞状
優秀団体賞……副賞・賞状
◎優秀指導者賞
特に優秀な団体の指導者には、副賞を授与します。

○個人賞
信山先生記念賞……副賞・賞状
日本書道芸術会大賞……副賞・賞状
日本書道藝術奨進大賞……副賞・賞状
全日本書道連盟奨励賞……副賞・賞状
推薦書象賞……副賞・賞状
選賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
賞……副賞・賞状
○団体賞
最優秀団体賞……副賞・賞状
優秀団体賞……副賞・賞状
○優秀指導者賞
特に優秀な団体の指導者には、副賞を授与します。

入銅銀金特賞
選賞……賞状
賞……賞状
賞……賞状
賞……賞状
賞……賞状

出品上の注意
作品の表面左下に鉛筆で「出品目録番号」と「整理番号」を必ず記入下さい。
「出品目録」は必ず本展所定のものをご使用下さい。

出品目録は作品とともにお送り下さい。

(4) 作品表面
支部・学年・氏名(例) No.5-1-20
……整理番号(2)
……出品目録番号(1)

書象会通信条幅研究会課題の解説

(平成二十九年五月～七月まで)

信山流

一字一字がっかりと表現されている信山バリです。中心を通して堂々とした作品作りを心掛けましょう。

江：サンズイに注目し、一画めは軽く。

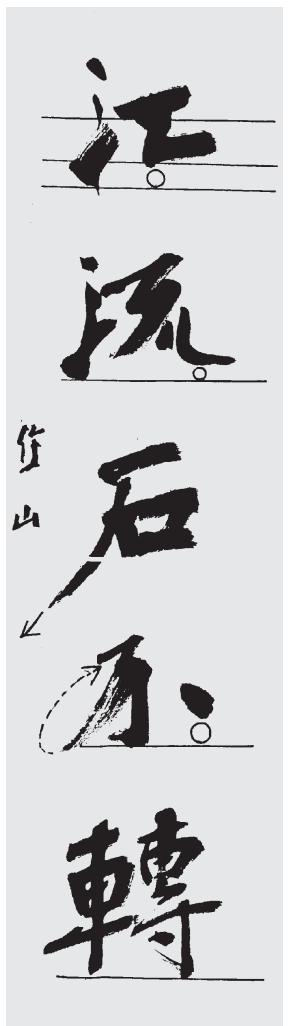
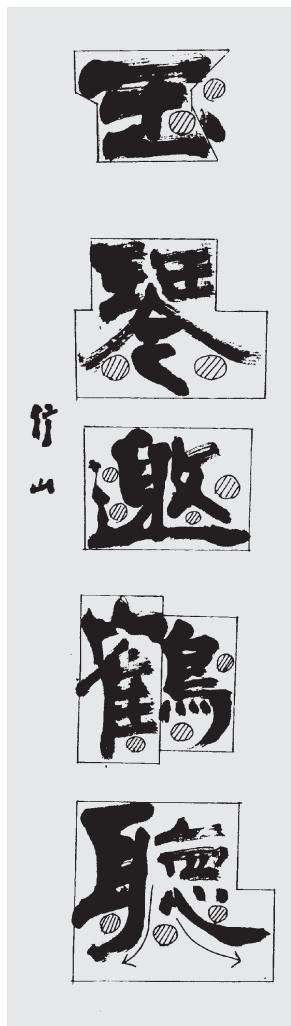
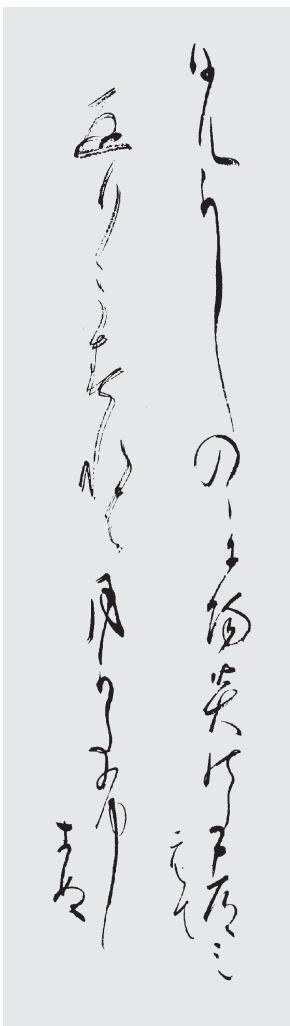
流：「江」字のサンズイとは違い太く、強く。

石：三本の横線、平行を保つように。

不：「石」「不」字の左払いの変化をつかみ工夫して表現

したい。

轉：「車」ヘン、しっかりと書きツクリは軽めに収める。



仮名

二行目上部「返りみすれば」の大膽な動きとカスレの軽快さがこの作品のポイント。この明るさは、筆が閉じたままでは、また丁寧すぎては表現できません。まず大きく腕を動かしましょう。腕の動きに毛の先がついてくる、そんな意識を持つと線は生きます。

最下部の「えて」「きぬ」は墨量を少なくしておくと右の行にかなり近づけても窮屈になりません。

隸書

長短の変化ではなく五文字を方形にまとめ、肉太の点画を用い、密度のある文字表現を心掛けたい。特に横画の運筆の強さを意識する。

玉：三本の横画の、長さと空間の取り方に留意する。

琴：密度のある「玆」と左右へ空間を持つ「今」とのバランスに留意する。

邀：「え」によりバランスの取れた方形をつくる。

鶴：「雀」より「鳥」を小振りにまとめる。

聽：「耳」の最終画と「心」の二画目によって左右のバランスを取る。

「上條信山の門流一書象会選抜展」の作品参観と 高野山、奈良の名所巡りツアーのご案内

5月号に掲載しました平成29年度秋季企画展「上條信山の門流一書象会選抜展」の作品参観ツアーの概要が決まりました。作品鑑賞とあわせて、弘法大師ゆかりの地である高野山をはじめ奈良の名所を巡る楽しい一泊旅行となります。

会員の皆さん、奮ってご参加くださいますようご案内いたします。

1. 「上條信山の門流一書象会選抜展」

平成29年10月7日（土）～平成30年1月14日（日）

2. 「上條信山の門流一書象会選抜展」の作品参観と高野山、奈良の名所巡りツアー

○期 日 平成29年10月7日（土）～10月8日（日） 1泊2日

○費 用 33,000円（バス料金、宿泊・昼食・拝観料など）

○申 込 8月末日までに書象会本部にお電話ください TEL0422-53-9743

<行程>

10／7（土） 新大阪10：00集合（各自） 新大阪発10：15～阪神高速南森口～岩出根来IC～
高野山（昼食：精進定食）13：30～高野山16：00～宿泊先（平城）18：30

10／8（日） 宿泊先発9：00～東大寺大仏殿～興福寺・春日大社等～飛鳥荘（昼食）～
杉岡華邨書道美術館13：30～15：00（講演・作品鑑賞）～解散

○宿泊先 遊景の宿 「平城」

〒630-8202 奈良県奈良市伊市川上野728 TEL0472-23-5255

特待生紹介

（学年は試験合格時のものです。）

目標だった特待生

霧島支部 中一
平塚沙幸



わたしは小学一年生から書道を習い始め、やがて「特待生」になることが目標になっていました。その目標を果たすことができたのは指導をして下さった先生と応援してくれた家族のおかげです。次は硬筆を頑張ります。
支部長先生より一言いつも笑顔です。書く姿もすばらしいですよ。努力の成果でたね。硬筆も期待してます。ガンバレ。

目標達成



名東支部 中二
和仁柚菊乃

私は小学三年生に書道を始めました。今回、目標にしていた特待生になれてとても嬉しいです。ここまでのことは先生のおかけです。本当に感謝しています。次は硬筆も特待生になれるように頑張ります。
支部長先生より一言何事も丁寧にきちんとした性格が字に現れて、美しい文字です。特待生おめでとう。次は硬筆ですね!!

特待生になつて



珠悠支部 中三
奥手璃子

私は、四月から高校生です。今、とても受験で忙いのですが、勉強の息抜きで書道をすることが私の一番の楽しみです。毛筆と硬筆どちらとも特待生になれ本当に嬉しいです。高校生になつても書道を続けたいです。支部長先生より一言 書道が精神安定剤になつていて本當に嬉しいです。高校生になつても書道を続けたいです。支部長先生より一言 書道が精神安定剤になつていて本當に嬉しいです。色々な書体や表現に触れ、奥深い書道を共に楽しみましょう。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

これからも



若竹支部 中二

山浦和喜

書くことが楽しい



有象支部 中二

井上万結

感謝



佐藤光

僕は小学生のころから書道を習っていて特待生になつたというのはとてもうれしく思います。これからもやつていただきたいと思います。そしてもっと字をきれいに書けるようにしていき、役立てていきたいです。
支部長先生より一言 和喜君は教室のお隣りさんです。古典を勉強はじめてから書道が面白くなつたようです。期待しています。



道

皓花支部 中一

大坪千紗



継続は力なり

珠悠支部 中二

山科敦穎



続けて良かった

竹華支部 中三

神田梨花



小学学校三年生の時から習い始めた書道で私は特待生になることをずっと目標としてきました。今回達成できたのは丁寧に指導して下さった先生と支えてくれた家族のおかげです。これからも頑張っていきます。

毛筆に続いての特待生、とても嬉しいです。漢詩を扱うときに先生が意味や読み方を併せて教えてくださつたので、新しい知識も増え楽しく書くことができました。これからも楽しむことを大切に取り組んでいきたくです。
支部長先生より一言 二冠達成おめでとう！集中力のあるお嬢さん、「楽しむことを大切に」と言う言葉、嬉しいです。

私が習字を始めたのは小学一年生でした。始めたきっかけは、兄が書道をやっていたからです。「特待生になつたよ。おめでとう。」と先生に言われた時、「やつてきて良かった。」と思いました。ありがとうございます。
支部長先生より一言 千紗ちゃん合格おめでとう。形良く力強い字が書けます。楽しい友達との話にも元気をもらっています。

私は習字を続けて良かつたと思います。先生のご指導のお陰で特待生になることができ、字も上手に書くことができるようになつたからです。次は毛筆でも特待生になれるようにこれからも、努力していきたいです。
支部長先生より一言 決めた事はやり遂げようとする意志と集中力は素晴らしいと思います。二冠に向けて頑張りましょう！

目標

照澤支部 中一



百瀬友香

特待生になつて

湊支部 中一



花岡茉奈

感謝！！

玄黙支部 中二



廣田あかり

今回は、ずっとなりかつた特待生になれて感謝と嬉しさでいっぱいです。私に書道を勧めてくれた母、ずっと指導してくれている先生、そして自分のためにもこれからも書道を頑張ります。

支部長先生より一言 静かな佇まいの中にも芯の強さを感じます。それが短期間で特待生に結びついたのでしょうか。おめでとう！！

私は、五歳から習字を始め、目標としていた特待生になることができ、とても嬉しいです。ここまで続けられること、字が上達したことは先生が熱心にご指導してくださったおかげです。ありがとうございます。
支部長先生より一言 宿題をすませ、夜八時に教室に来ます。クタクタになって帰っていきます。ガンバレ／友香さん。

私は、小学一年生で習字を始め、特待生を目標に頑張っていました。今回、先生方の支えもあり、やつとることで特待生になることができました。今まで諦めずに頑張ってきて良かったです。ありがとうございます。
支部長先生より一言 教室での真剣な稽古ぶりが印象的だった茉奈さん、初めての挑戦で合格お目でどう。次は二冠達成を！！

少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

霞ヶ浦支部 小三 岡田一真



最近めきめき上手になつてきました。身体も大きくなり、添削する時も、「はいっ」としつかりと返事をしてくれます。やさしいお兄ちゃんでもあります。



伊奈支部

小小三 上林林舞千葉衣花
仲良し姉妹。姉の舞衣ちゃんはボルダリング、妹の千花ちゃんは体操を習っています。二人とも何事にも本当に頑張り屋さん！今後も期待しています。



飯山支部

小四二木葉江
笑顔が可愛い菜江さんは、いろいろな習い事をしていますが、どの習い事も楽しそうです。これからも長くお習字も続けて特待生をめざして頑張つてね。



土筆支部

小四二木葉江
最近めきめき上手になつてきました。身体も大きくなり、添削する時も、「はいっ」としつかりと返事をしてくれます。やさしいお兄ちゃんでもあります。

大淀支部 小五松下琉里子



四年前よりお母様と共にお稽古を始められ、お姉さんはテニスにピアノ、妹さんはピアノと両立。共に段位を取得して一年、素質の良さを感じます。



葛支部

小二酒井美空
習字の片付けも年中さんの頃からちゃんとできしっかり者の美空ちゃん。得意なそろばんは5級、英語もやっています。習字もすばらしい線で思いきり書けます。



黄華支部

小三田山智悌
スポ少でテニスをしている優未ちゃん。テニスとお友達と仲良く遊ぶことが、大好き。お習字は、大らかな文字を書きます。お母様の送迎で通っています。



玄巣支部

小三田中優未
智悌君はとても活発で将来はゲームソフトの会社の社長さんになるのが夢です。教室でも伸びのあるよい字を書きます。特待生を目指して頑張つてね。

上尾支部 小一高松千愛



二人の妹の良いお姉さんです。音楽の時間が大好き。英語教室にも通っています。挨拶もしっかりと出来感心です。書は一点一画をゆっくりと書きましょう。



若葉支部

小六長山麻莉緒
重厚な字を書く麻緒ちゃんと優しい線で書く莉緒ちゃんは支部最初の双子ちゃんです。中学生になつても個性を生かし、素敵な作品ができるよう頑張ろうね。



練馬支部 小四辻栢奈

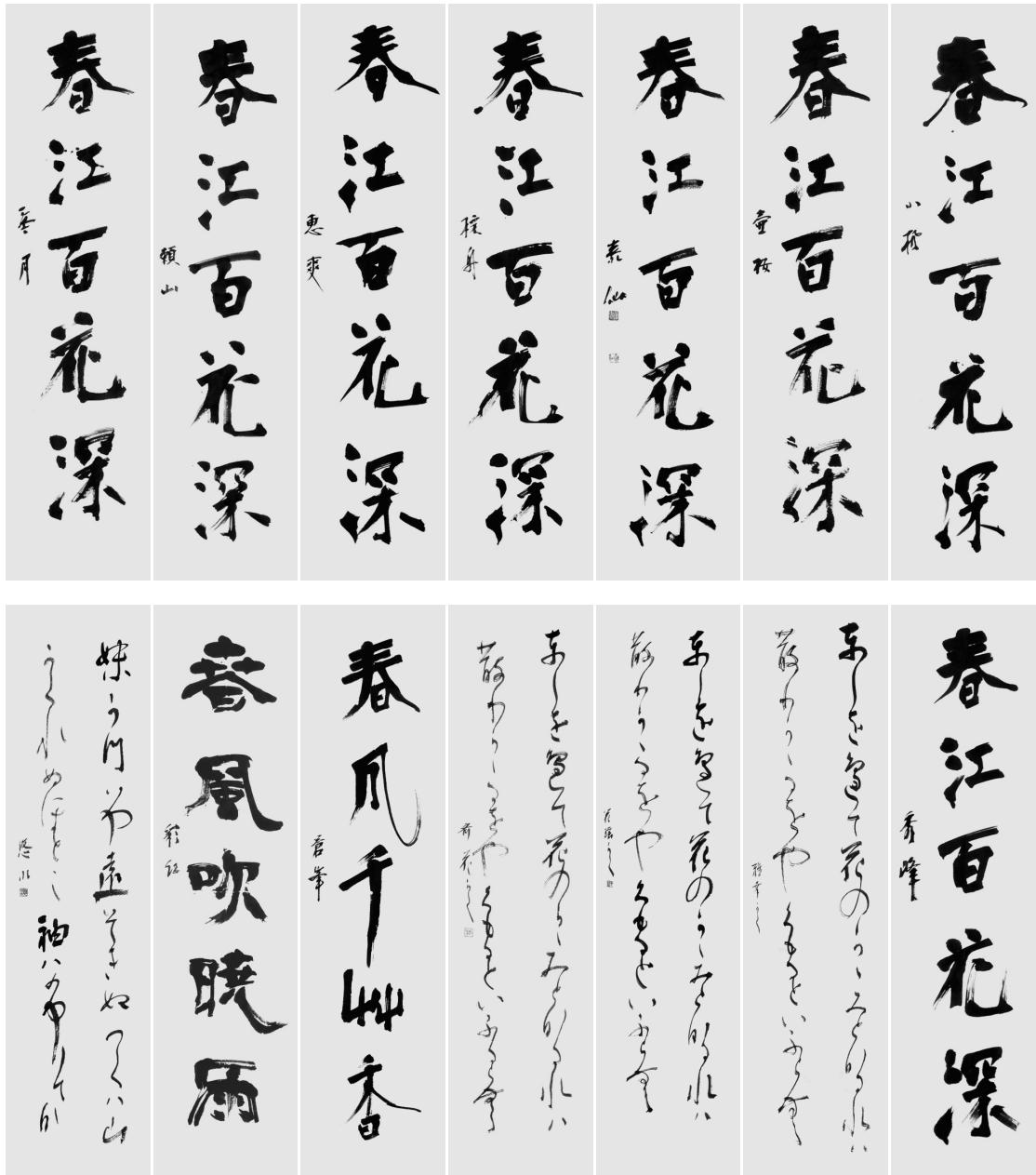
お稽古中は黙々と書く事に集中する姿が印象的。日々の努力が実り、書き初めが練馬区展に選出されました。所属する野球チームでレギュラーで活躍中。



練馬支部

小四辻栢奈
お稽古中は黙々と書く事に集中する姿が印象的。日々の努力が実り、書き初めが練馬区展に選出されました。所属する野球チームでレギュラーで活躍中。

今月の優秀作品



△隸書条幅▽ 評 山口 啓山

井上 悠水

小 楓 墨痕鮮やかでインパクト

の強い秀作。

壺 桜 スケールの大きな作で迫力充分。

秀峰

春江百花深

秀峰

舟 表現の豊かさが実に印象的な秀作。

泰仙

法則に適った造形で精神性高し。直線的表現で精神性高し。感に満つ。

頬

琴月 頬仙 大胆な運筆で一氣呵成に書き上げた。

秀峰 筆力のある作風で焦点も明確でよい。

△隨意條幅▽ 評 寺尾 碩雲

井上 雅幸

墨色彩やかな秀作。線質や字形も見事。

塚原花瑠

鋭い線質が印象的。形よく流れもよい。

西鴻斎花

貫通力があり、大胆な運筆が快ちよい。

△通信條幅▽ 評 樋口 玄山

坂井 蒼峯

形を正確に捉えた沈着冷靜な運筆、見事。

岩月 彩紅

堂々たる太さ。この豊かさが良い。

井上 悠水

遅速緩急、墨色の変化があり秀作。

冬月

春江百花深

頬

春江百花深

東

春江百花深

東

春江百花深

春江百花深

東

春江百花深

春江百花深

東

春江百花深

春江百花深

東

春江百花深

秀峰

帆 桜

の強い秀作。

泰仙

スケールの大きな作で迫

力充分。

頬

表現の豊かさが実に印象

的な秀作。

舟

直線的表現で精神性高し。

泰仙

点画が冴えたり緊張感

が漲る。

頬

法則に適った造形で安定

感に満つ。

泰仙

大胆な運筆で一氣呵成に

書き上げた。

泰仙

筆力のある作風で焦点も

明確でよい。

基本課題

評 高瀬 霞山

似酒百
谷醺

遊心

北海道	青森	岩手	秋田	山
馬崎	形宮城	福島	島茨城	枥木群
玉千葉	神奈川	川	山梨	
朝見	小夜子			
小夜子				

似酒百
谷醺

天道

北海道	青森	岩手	秋田	山
馬崎	形宮城	福島	島茨城	枥木群
八潮	千葉	神奈川	川	山梨
吉田	みなみ			
みなみ				

似酒百
谷醺

精翠

北海道	青森	岩手	秋田	山
馬崎	形宮城	福島	島茨城	枥木群
玉千葉	神奈川	川	山梨	
朝見	小夜子			
小夜子				

似酒百
谷醺

精翠

北海道	青森	岩手	秋田	山
馬崎	形宮城	福島	島茨城	枥木群
玉千葉	神奈川	川	山梨	
朝見	小夜子			
小夜子				

中原遊心 太さの中に強勁な線質で全体感も大佳。
 宮田天遙 五文字をサラッと書き上げた作で見事。
 小暮静翠 強さと甘さの調和、結体力も素晴らしい。
 杉本統華 紙面に喰い込む線で一気に書き上げ秀。

研究課題 評 高瀬 霞山

朝見小夜子 余白を生かした上品な仕上がり形も秀。
 吉田みなみ 一字一字丁寧に最後までゆるぎない作。
 高橋天翠 ゆっくりおおらかに余裕のある作品。
 小泉壱藍 形が素晴らしい。行意が入った秀作。

古典研究

評 柳澤 玄嶽

月色うち
桂子

桂水
桂枝

沙門玄
沙門玄

沙門玄
沙門玄

沙門玄

上條賢山 腕法の大胆さと淡墨による余白の妙佳。
 上條直子 ゆったりとした運筆で濃墨を使いこなした。
 加藤桑軒 線に冴えがあり、文字空間を見事に表現。
 藤澤竹虹 彈力の効いた運筆で、確かに腕法の表現。

師範部

△行書

評 柳澤 玄嶽

奘奉

宸林圖

奘奉

真意

奘奉

龍文
印新圖

奘奉

沙室圖

沙門玄

大賀霞泉 大胆な運筆と懷抱の表現が素晴らしい。
 中内真意 用筆法が巧みで、味わいのある作品。
 川島映雪 鍊度の高い明快な運筆が印象的な秀作。
 久久詠香 写実性に富んで安定感のある秀作。
 町田玉香 腕の動きがスマーズで、穏やかに仕上げた。
 金子夕紅 伸びのある清冽な線質。形体もよい。
 上田採花 洗練された行書の風格と氣力躍動感あり。
 温順さの中に折り目正しく品位ある作。

宮坂鐘洞 スピード感があり、伸びやかで、気力有り。
齊藤盈月 静かな響き、躍動する線表現がみごと。

土井雲峯 筆の弾力を十分に駆使した鍛度を感じる作。
田口雅華 お手本に忠実な作品。空間美も抜群。

鈴木花仙 流れは明朗快活、線の大小の変化あり佳。
岡田象月 落ち着いた用筆で、確かな腕法で安定的。

田中翠花 抑揚豊かで味わいある線、形も見事。
中田皓花 正確かつ静かな動きで品よくまとめた。

沙門玄 沙門玄 沙門玄 沙門玄

笑奉

脚校 師範 廉洞

沙門玄 沙門玄 沙門玄 沙門玄

笑奉

経立 師範 金月

沙門玄 沙門玄 沙門玄 沙門玄

笑奉

大典 師範 重幸

沙門玄 沙門玄 沙門玄 沙門玄

笑奉

結花 師範 中田皓花

笑奉

■

笑奉

経立 師範 金月

笑奉

翠花

笑奉

結花 師範 中田皓花

△仮

名▽

評 荻田 光山

森下朗仙 字形の美しさ、連綿のなめらかさが秀逸。

宿谷硯心 行の布置がよく、余白に響きがある。

北村照節 濃墨で一気に書いた中に静けさあり。

小林貞月 線が伸びやかで、線に太さもある佳作。

嵯峨我山 墨色の変化と墨の濃さがマッチした秀作。

奥山ふみえ 筆がよく立って、収筆まで力みなぎる作。

金坂心快 無駄な力が一切入らず、よどみがない。

加藤穆舟 やや大ぶりながら、書きぶり見事な秀作。

杉本千景 運筆に余裕があり、一字一字に空間あり。

神田澄江 静かさの中に気品と美しさを感じる佳作。

高平光紗 連綿の運筆、墨色、布置いずれも秀逸。

池田理恵 ふくよかな線太の表現が魅力的な佳作。

学生部

評 芦川 臨泉

北村匠伍 安定感のある線で落ち着きのある作品。

井上万結 始筆から終筆まで氣を抜かず書けている。

武藤結香 きれいな線で明るくさわやかな作品。

池田夏緒 楷書の基本に忠実で形もよくまとめた。

安全な
仕事

安全な
仕事

羽田
空港

羽田
空港

陽注ぐ
光

陽注ぐ
光

小川
石の

小川
石の

气候
あさ
音

草木
あさ
音

空
力く
らべく

川
力く
らべく

氣候
中一
鎌木みのり

草木
小六
三原和花奈

空
中一
中島大智

川
小二
ともひと

半紙隨意

評 成瀬 惠苑

みのり しっかりと筆使いで力強く書けた。
和花奈 わやかな線で春を感じさせる作品。
中島大智 紙いっぱいに切れのある線で書いている。
ともひと 太くどっしりとしていて形もよい。

このページに掲載された人には書象会より記念の
筆をさし上げます。

沙門玄 笑奉	沙門玄 笑奉	沙門玄 笑奉	沙門玄 笑奉	沙門玄 笑奉	沙門玄 笑奉
須坂 五 美代子	須坂 五 美代子	須坂 五 美代子	須坂 五 美代子	須坂 五 美代子	須坂 五 美代子
大坂 松田司峰	大坂 松田司峰	大坂 松田司峰	大坂 松田司峰	大坂 松田司峰	大坂 松田司峰
原坂 五 木下美代子	原坂 五 木下美代子	原坂 五 木下美代子	原坂 五 木下美代子	原坂 五 木下美代子	原坂 五 木下美代子
行 位	行 位	行 位	行 位	行 位	行 位
段 級 名	段 級 名	段 級 名	段 級 名	段 級 名	段 級 名
秦 静 野 月 吉 曉 産 級 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位
須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子

(行位) 行書の順位表

段級名	段級名	段級名	段級名	段級名	段級名
秦 静 野 月 吉 曉 産 級 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位	若 静 竹 横 二 光 横 李 横 玄 横 松 戸 杉 靜 山 靜 段 位
須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子	須坂 石原 大橋 上條 岡田 寿星 明美 子

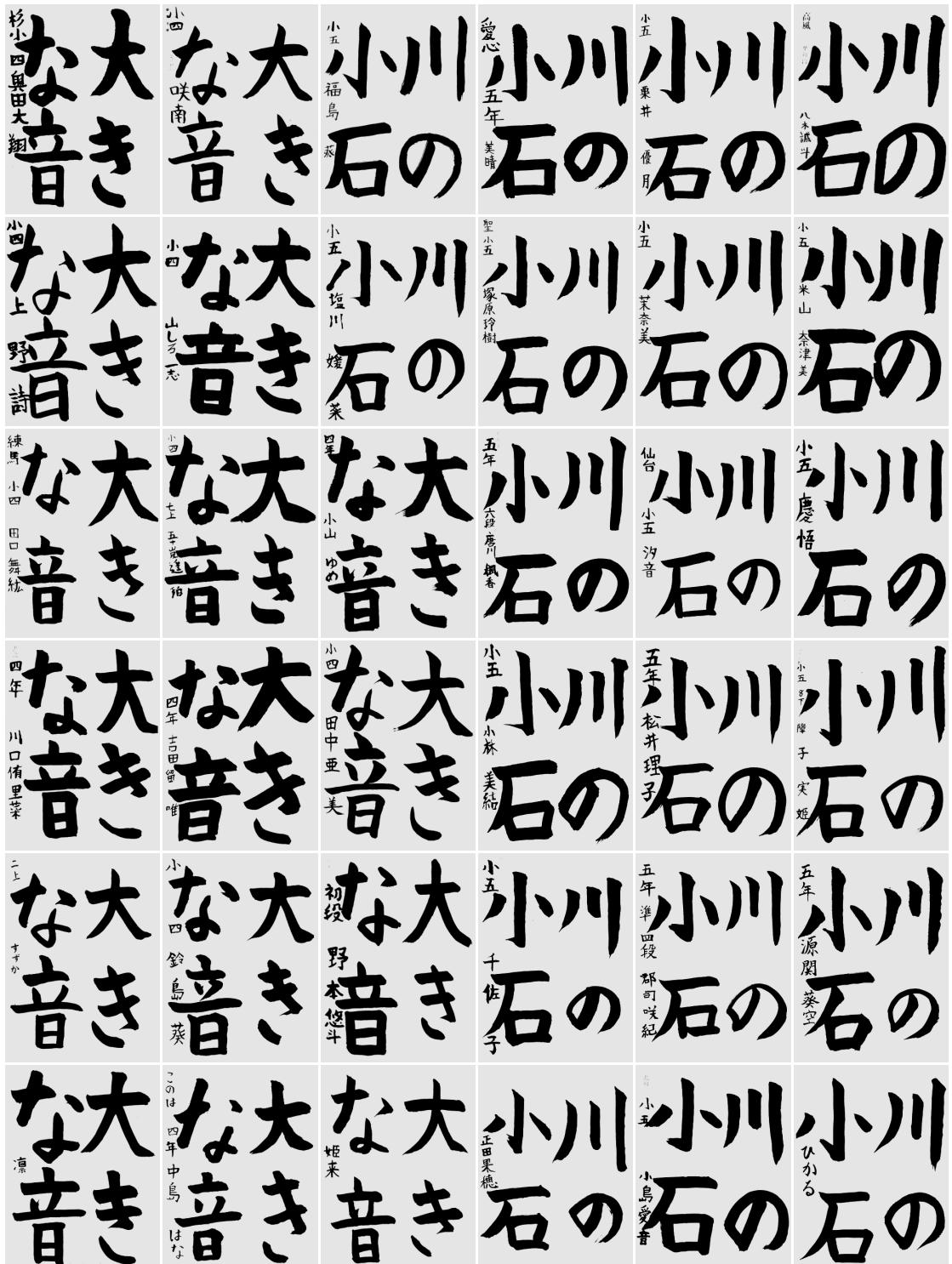
安全な仕事	安全な仕事	安全な仕事	安全な仕事	安全な仕事
中二 明日香	中二 松田威儀	中二 平塚沙幸	中二 加藤潤	中二 渡辺紗衣
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田
中一 清水歩生	中一 阿部結奈	中三 山下侑華	中三 陽菜	中二 特待生山田純寧
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田
中二 萌絵	中一 詩音	中二 小坂早希	中二 鳴原舞衣	中二 百瀬友香
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田
中一 松九真介	中一 杏美	中一 矢野さとり	中三 白倉夢力	内藤中二 準五加藤海寧
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田
中一 春樹	中一 遙	中一 颯耶	中二 今井彩水	中二 千葉月美
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田
中一 中尾真乃介	中一 椿	中一 篠栗	中二 坂口愛佳	中二 文乃
空港田	空港田	空港田	空港田	空港田

[毛筆] 中二・三
 鈴鹿 花蓮 砥扇 玄樸 秀雪 霞墨
 北府 霞 嘉里 千曲 竹華 若松 峰峰 錦馬
 球 風 千曲 峰若 松 峰峰 錦馬
 幸 横井 阿部 松田 東岡 平野 矢野 ことり
 清水 鎌田 阿部 松田 東岡 平野 矢野 ことり
 古渡 松丸 明日香 菲奈 姫乃 達哉 風優
 中尾 春樹 茂絵 明日香 遠乃 達哉 風優
 真乃介 春樹 茂絵 明日香 遠乃 達哉 風優

小五 國 蒼悟	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
小五 中 美友	小六 田中 秋元 合萌	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
小五 もか	小六 陽和 桑野 泰成	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
五年 岩澤 美海	小五 麻央	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
五年 茅野 彩	小五 横田 彩	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
五年 有結 莉	小六 優花 星見 愛心	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
五年 ひなた	五年 涼乃 行武 涼乃	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田
五年 佐生 結衣	五年 酒井 瑞希	小川 石の 光	陽注 ぐ	陽注 光ぐ	空羽 港田

[小五]

好野	茅山	硯華	竹凛	心名	東秀	前華	雪玄	默華	前玄	有虹	八潮	練馬	平成	虹	溪月	たけ	大田	雅	龍文	飯山	藏
愛野	愛野	華	心	東	雪	原	雪	默	東	八	月	馬	月	苑	月	古張	大	雅	文	山	日
佐生	高松	横田	立花	岩澤	酒井	行武	佐々	布山	西村	秋元	有虹	松宮	屋	野澤	星見	三井	木	鈴木	金子	莉緒	猪野
ひなた	ひなた	ひなた	彩	彩	彩	彩	有結	木	村	元	山	山	屋	野	見	伊藤	木	木	さくら	朱莉緒	真緒
							莉	本	秋	泰	泰成	雄	大	稻	古	木	木	木	星井	明純	惺梨
							泰	成	年	成	年	雄	成	稻	翔	泰	木	永	永	朱莉	梨



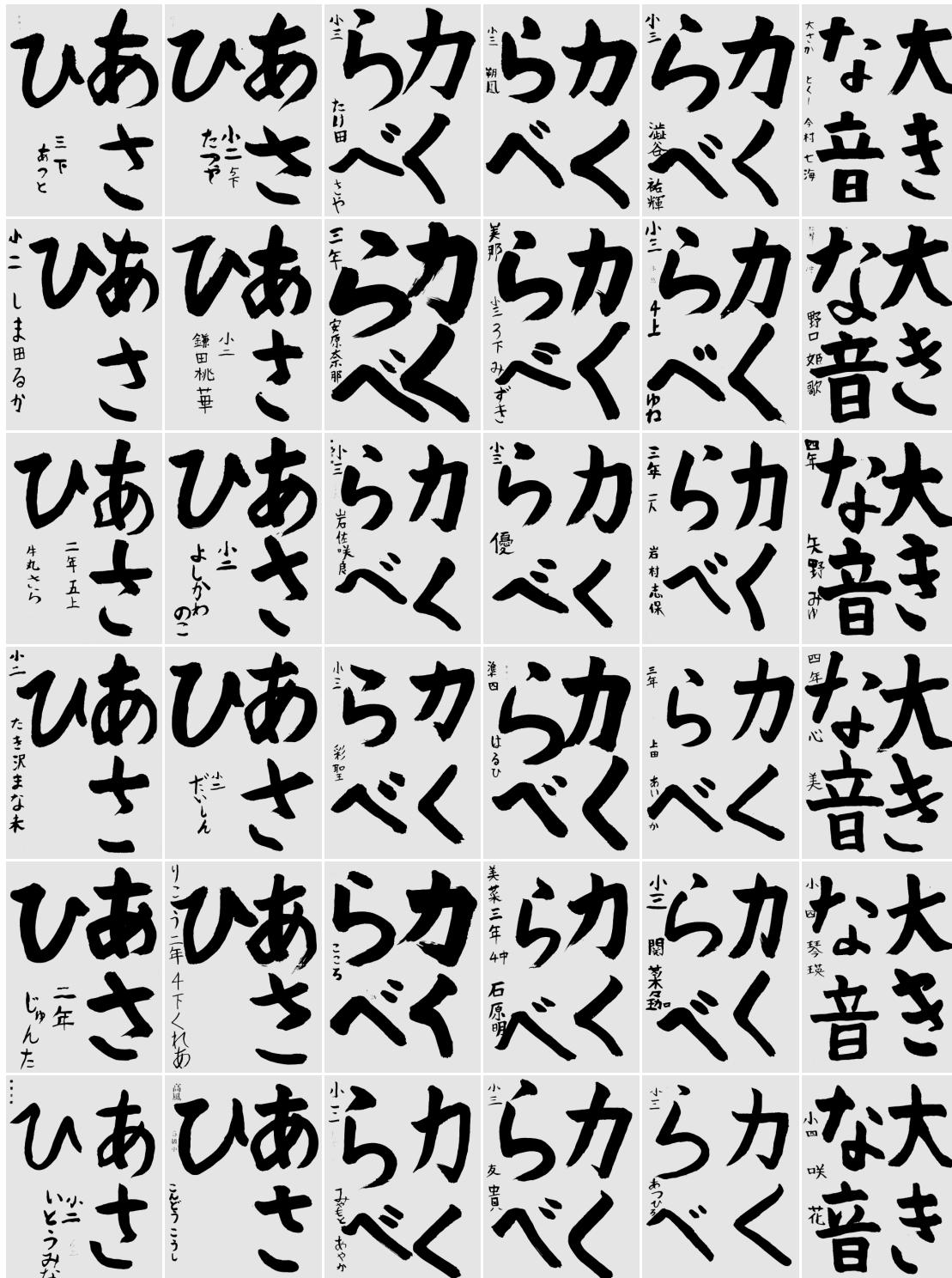
高風	瑞祥	光丘	八木	誠斗
み月	千葉	米山	奈津美	
平成	源関	正桂	坂本	栗井
秀雪	葵空	仙台	菜奈美	優月
松戸	実姫			
林田	慶悟			
粟井	ひかる			
優月				

高風	瑞祥	光丘	八木	誠斗
み月	千葉	米山	奈津美	
平成	源関	正桂	坂本	栗井
秀雪	葵空	仙台	菜奈美	優月
松戸	実姫			
林田	慶悟			
粟井	ひかる			
優月				

高風	瑞祥	光丘	八木	誠斗
み月	千葉	米山	奈津美	
平成	源関	正桂	坂本	栗井
秀雪	葵空	仙台	菜奈美	優月
松戸	実姫			
林田	慶悟			
粟井	ひかる			
優月				

高風	瑞祥	光丘	八木	誠斗
み月	千葉	米山	奈津美	
平成	源関	正桂	坂本	栗井
秀雪	葵空	仙台	菜奈美	優月
松戸	実姫			
林田	慶悟			
粟井	ひかる			
優月				

高風	瑞祥	光丘	八木	誠斗
み月	千葉	米山	奈津美	
平成	源関	正桂	坂本	栗井
秀雪	葵空	仙台	菜奈美	優月
松戸	実姫			
林田	慶悟			
粟井	ひかる			
優月				



【小二】

華山須雪	愛坂高	霞英	墨高	洋李	心柏	黙玄	洋柏	峰華													
愛坂皓	坂皓	英皓	皓英	光李	光李	默李	默李	華默	默華												
内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊	内河伊
南実汰	汰未	良純	人篤	花紗	志功	志功	爱红	爱彩	圣彩	圣彩	友咲	咲友	奈彩	奈彩	阳妃	阳妃	瑞妃	瑞妃	朔妃	朔妃	祐妃
未汰	汰良	良纯	人笃	花纱	志功	志功	爱红	爱彩	圣彩	圣彩	友咲	咲友	奈彩	奈彩	阳妃	阳妃	瑞妃	瑞妃	朔妃	朔妃	祐妃
也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	也	

りかこ まう しまて たんい 。かの なさ木 ゆかな	りかこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	苦労や痛い体験を幾度も重ねる中で、何事にも動じない堅い心が育つて行く。 —— 関野らら
--	--	--

りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	苦労や痛い体験を幾度も重ねる中で、何事にも動じない堅い心が育つて行く。 —— 関野らら
--	--	--

りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	苦労や痛い体験を幾度も重ねる中で、何事にも動じない堅い心が育つて行く。 —— 関野らら
--	--	--

りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	りがこ まう しまて たんい 。かの いさ にく なら	苦労や痛い体験を幾度も重ねる中で、何事にも動じない堅い心が育つて行く。 —— 関野らら
--	--	--

【小五・六】書之 中島務台 杏夏	【一般】 花象 田中 御牧 白倉 【中学】 玄黙 影山 千曲 名東 脇田 山崎 土筆 楓伊藤 汀伊藤 船橋伊藤 橋伊藤 【小五・六】書之 高森 牧野 玄默 虹友 練馬 シ一 高森 牧野 玄默 虹友 練馬 あまきしほ	〔硬筆〕 春の季語「山笑う」とは、山の草木が芽ぶいて明るくなる様子を言います。 —— 美波
------------------------	--	---

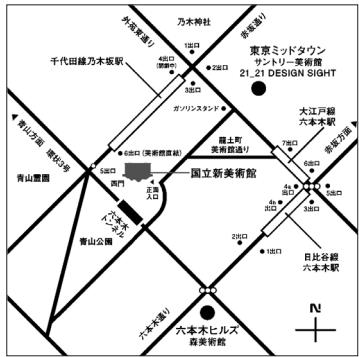
葉中「笠梶」	葉梶大太四桙柏瀬長富 玄長八笠中	大宝柏葉花玄信 笠信文中珠葉八	北大梶若京柏靜瀬書靜高 神八中硯聖白綾 東柏笠静游	さ	大月野 原友 6	月友阪象谷森芳戸野貴 5	嶽野潮原野 阪春心月象默大 4	原大化野悠戸 3	府阪友駒都芳 戸之 風 2	戸野 産華 1	陽心原 特わ 阪	1	
真知中市石柏級	鉛渡白ま浅若水高湯羽吉相藍	級華美仁塩山田山裕飯啓本上塙	級渡伊大土半笛金	級指吉東真和山林石孝玉佐	級青小佐真碧淡久	級筒寺若渡周	級	楳林針	佐 鳴川井崎 木辺井す野井 杉田川木 岡原田中田 島 間原内 辺藤橋屋田生見 田村瑞 口玲黒 升孝 野笠々	井尾林邊藤 原珠寿	子貞ル沙和と 敏陽美子洋伸煌優坂龍眞美香 葉香賀朝さ彰由美真子あちち 真均信鑑知芳純 惠珠子花代有奈氏子麻美 奏原木理瑠愁恵	江春真惠文	節恰喜
サ岐東京「和さ美倚サ大和」「巍倭蒼サ美」	北中書須	大「游」須「新中玄游大正須長靜華春葉映笠香」	伊瑞様長八頃央大	八大瑞書静石玄大儀華富	有富	ン阜光都 わ一雲ノ淀 山 穴ノ苑	府野之坂五	行	象 墓 坂	城野様墨象桂坂野 雪秋月心原	奈洋森野潮雲 象 8	潮象祥集 峯様坂刃雪 7	象士
友土里み松田梶池伊武大加峯慎井星新佑梅塙石木段書	○	巡木神白富重神康德青楽葉青中蒲華富中千藤黒林名征子鈴人薰松級	中渡名吉武唐堀落能華秋級	早坂	里村屋な本島原田中藤村田上野井希津原下	村木山澤松林 澄木坂 木西原 澤本川塚 田か 矢塚木島 島 川谷 田居津内合勢	川齊	江良千み孝静節理順と秀淳里伊靖真早知子八み幸美	光友禮千澄千桃子陽由美明薰智美麗佳幸珠希子菜お琳野恵彩健ホ晴	美和志朝典由里良葉凌代	静和		
青霞中八玄静玄八宮須泊源船神長蒲八長美	南神入奈足浦野平	「北横新玄大美相竹笠北」「碩若書」	「玄」瀬「沙葉頃」「富」	「大」桜	「高珠茅」	新宮光	華	雲墨野南黙山然黙山地坂心創龍翠田南寿菜準	林間華羽心込成 府二城心象二模松原府	雲松集 心 戸 羅月雲 貴	阪 花 風紅野	城地丘 雪	
青服土山上黒影渋牛白室宮測丸小さ鈴上大段	渡倉空浅真大栗票穴宍鈴田和南京平松林古吉富上弓熊板荒雅上石紗鈴衣松宮石高田大熊春下小北高宮濱石松信鈴門伊	木部屋元田山谷丸木質本上山林く木條橋 部科 野 谷本原戸木島田條坂野本田田富岡削田坂川 杉黒 木 川崎橋橋中井野	山林藤 内 井下 木脇藤	順佑鐘聟章浜政和千綾香千洋らし寿明	福豊正悦希真淳智光代美経正綾慶富千勇と子み民羊千利絵幾安羅満凜珠美昭真照月か子了永子裕華知	霧に横僕大 若墨	杉葉静美若青瑞水東春珠小妙書	笠久青倭游聖伊掘「秀雅」	静京「龍麗譲浅信桐月草書平花鉢ア玄	杉大石有信久光秀伊玄若飯玄蒼	訪城浜 阪准竹洋 月 菜事雲代君根玖光高之 原喜雲 墓 奈友 雪	山都繪文墨黃閒大生 წ 成吉苑坂心黙花	四 阪峯象州喜丘雪心奈庄田樸穹
丸木遠沖松段福銀錦室村林森井渡武作柴賀神山佐咲杉荒高馬西周瑞林東保甘原今長齊麻清折寺横山川松鈴藤幸小五本寺豊岡段快青宮西田上中加伊南黒佐村遠間	山内藤真田 田木木原石玲美原会田田藤澤原田藤川山井橋村藤 か瑞坂中口井塚藤生水笠島山田井落木橋 原月多尾島田	木田嶋中西谷藤庭條田藤松藤宮	皇日晨由司 朱千蘭那愛奈希飛明弓沙礼由佳成桜奈江翔桜い宏文穂お子秀恵佳秀伊礼信奏鑑紗高雅忠嶺い子昭女千春美み	風響珠洋麗百美改朱了菜舞充李花	平正書横「秀若竹信玄国八藏宵信芙」	華松中「笠土静長杉瀬若」「碩横 晏帶松游」「横草平」「八李富石珠大土若」	「高有華サ秦有竹倭花瑞宮虹玄書観一横靜宝京成桂之二 雪松華大嶽府南 月大二 雪戸野 原筆 野 戸竹 雲浜三墨中 墓 二 成 戸光土峯紅阪筆松	風象雪ノ象友 象祥地友黙泉	葉浜翠春都				
林小春瀬八篠來小佐松細新藤長伊鈴森柳荻臼白鈴赤相友日清大土織段	宇發澤赤小高古水佐谷工飯坂菅後吉天小山中清早大松田は佐小本小都淹須彌森伊森森陽林 古木田林久澤野保牧山藤木清谷本原田日鹿澤木 比水島屋戸 留 姫井坂矢本藤地藤塚齊原藤村野田本兼川田中常々磯間坂竹瀬谷藤澤	晨勢尚賜子智子清あ泰八知間裕恒利稟均盛石あ祥葉理紅武美美野勝健さ農 貸胡辰惠明花静春和亮と節珠絵由航裕実静め眞和麗木典あ美患響香眞花英美和	有「高」 「笠練中倭霞大平杉千横観城八信八 華芙美書横「玄麗船櫻」小土長 有正玄書李橫櫻若頃長 大成大曇倭心「大倭」中美芙蓉柏源成横萬杉長松奈象 風 原馬野 墓阪成 曲二 彩南二雪容二泉二 罷野墨橋森平筆野 象桂心之光二松云松野準象象墨 和 象 野菜五光心創 城浜五 翠月華	☆☆四									
村久佐篠中古鈴中森珠田前保赤木平山堀金段	長川大鎌齊藤小西中百鹿小油大清川岸宇宮柏谷大寺段	段林中松真小西島川佐闇山原星合宮三大清齋鱗小林阿本末孝之原田木谷知 伊谷中邦井田本内見 朝名島名藤林水宮島村瀬島野科島水端上波田澤崎通鳥巣島 照野島田島沢千岸々さ田澤真葉本浦島水藤桃林普部奈大美井弘和こ美恵亨祐鈴均峯早眞詩純 伊川弘さ小蕙孝満千美友白未満さ蘿麗由美勇川帆と華幸昌ゆ 子麻晴広昭由裕春田木ゆ霽朱由詔仁久敏川百韻夢子操	若 玄神小茅秀須唯新「須柏横」 船玄茅聖桃花瀬大峰柏大八泰志小飯華秀観玄城新柏正玄長杉葉上若八竹若秀長信こ 成こ若八「秀書華珠大」葉こ柏綾書「宝竹初成平野雪坂心城 坂芳二 橋耀野 井戸戸象 芳淀戸野摩光山雪扇心彩城心桂嶽野 月筆竹潮華松雪翠大の準城の竹潮 雪集雪紅阪 月の芳華泉 春	☆☆四									
柄段木酒當小小青今重富中黒一大青小宮本北礎鳥石山心松江栗鉛浅掘土鈴君越日神飯宮松中高鈴山相鈴田加田山中清段	桑松上中加井高鳴杏林後柴橋成小及筆小澤 村井間林林木浪松澤島岩柳 桥木池下島村村部原下 下戸戸飯飼野静屋木島川置林島下澤西橋木下原木村藤川井澤田 田本原川藤上橋原 珠藤崎爪澤潤川宝霜悦 亜和月則挑躉裕千澄房完滿瀬岳清あ美すぢ幸理果舟百原原と昇子惠納つ裕倫桃真裕茂智葉敵美由彩梨和美優博品 幸綾京美明典真潔華恰菜修里衛千翠好優	杉一笠練後柏暁花さ光美玄 小平東晏勝大 樺一游郎柏文希 名有美八乙月 平土國船秦中「玄京須皓横玄」「倭蒼船」コ沙玄「名伊溪櫻小奈八勝」 聖華杉平少京路原馬 芳月雲わ丘二嶽 平成陽墨木阪 森絵墨野心望準東象一南訓 成筆府橋野勢 罷野坂花浜心 穩橋 の羅撲 東那月森光華戸木 雪 成平都	☆☆五										
長鈴歌世大山平寺村舟泊安羽林後山山鶴奥長畠田中段	諷近林吉永増廣夕川共保桿三辻橋渡萩坂南南齊鷺木後杉高富穴熊齋城森平中続野后坂染川岸中南木田古野口賀澤山野月達山彥早藤崎田原像竹中村村 訪藤幸村瀬子瀧 上谷川松岡山立辺原腰野條山村藤村橋崎原切訪倉内林島 里藤下野谷田田野野玉香円貴有紫直秀瑞清曉直苗晶由坂怜キヤ子惠久紫 彩節子智君今佳紗緝御子啓夏親由里儀辰成理美香舞和智則義彩理麻桂真旺次豊溪藤原急鑑恵	一北」「大横游大船遊有玄松皓愛書静、浅信長」「聖央勝小鉢高八松東富」「船衫赤秋上小優大中瀬書」吉優大唯静玄帯「玄」「秀杉名竹八柵船サ皓文大瀬静葉府 象二墨内南橋雪穗黙戸花心集 特間大翠 木光耀黄社南戸 陽貴 橋月石川尾平生象野戸集特祥生内心翠耀中 心 雪 東華潮友橋ン花化二阪戸	○○○1 ○○○2										
中豊宇田荻鉛真山落石竹橘高北鬼三原	原山大宮西テ田木坂齊清南金上清奥仁加武宮松竹藤大齋永安富	字八宇中古小原山吉若佐熊永林伊小浅菊丸脇生刈齋林鉢里田田中木里本合曾草橋村十浦井 露崎池川村 ルボト本藤水眞子田水崎木藤村下村村井嶋藤泉藤山 木田川本林誠田村杉々澤田竜澤野田子口込藤梨木亮萌川百法瑞奈早根茉光み美加贈明麻 予亞久萌奈ビ恭智ゆ美彩知千尚智と陽凜知如希楓和瞳美静ち和 彩用育恵輝ア美強美ヒ桃矢優美洋佳い梢智加雅香清	富晴大紅東美書冕光華玄 千中成「一沙大有杉八若」秀「笠長華汀練城竹八有柏北中」「大新高」船「富八照聖平小皓大玄」「聖華大伊玄」「杉八瑞晚」士月田竹根墨根集墨丘雪2 野城 路羅阪象 潮松 雪 原寿雪松馬彩華潮象芳野 象城社 橋 貴戸澤 成平花手心潮文愛橋1化 原版墨樸 戸祥月	○○○1 ○○○2									
米藤山下久少那橋平安蛇	級青金酒一佐森對封永古仁東柳大宮市岡秋松児清柿田越若須山塚洪松笛伊神竹池小賣戸山二久持小菊紺淹	級大南伊若唐泉清圓小佐阿田平田垣保森須野林野部川 木井并糸藤慶中寿井川平岡澤原川谷村玉田沼口谷林藤田越原川月谷之上名松河根中少保野林木谷田 橋澤藤井澤さ野藤笠藤部湧朱里多美朱多アヤかヒ梨 直久笑ひ啖子喜靖節賀香円宣桜沙利賢利真有順信佳大さ美和美晴曉潤内恵部原川笑祐ゆ陽光紀紹 信亜鉛伸米ラ菴と原華道	松本後湯水森駒小羽高坂嵐平崎高石佐小梅小伊横今北佐内加北難仲長古片築入近林三門稲	級未山西藤中河渡塩石落唐井富池吉鉢小原松荻根佐中谷向植稻道田間藤本野形山田橋本田山比田多山谷川々津林石藤山國村藤原波戸賀川山江藤愛木稲葉 田村川本里西原井合津上田田川木暮田本原本藤鷗鷗井村岡喜湊健瑞縞み玲華龍眞香悠慶佐倫野上華靜木胡乃アヤ彩真縞紀由悠ミ優桃智仁精祥もア友太里芽 榆優邦郁吾玲眞朝和良由和幸千眞里千彩奈千和未ル立美萌葉正	硕李「硯静庵」 柏横光美たみ一花新泉」 大大久四季葉柏備 顧櫻杉玄美「大暁高」華納靜「長珠李晴柏成瑞「富中秋」杉一蒼須玄柏大平飯秀霞星中 大中雲光 扇 花吉 芳二丘那けな絵蓮城華 淀阪谷喜光月芳後5雲森 成苑 阪月風 雪馬 野紅光美芳城祥 士勢川 月葉穹坂心芳望淀成田雪墨 光央 4井野	○○○○○							
大樺宮今蒲渡大竹真松岩ス鈴中真大小齋緒中今高柳金吉大柳	級黛堀野豐中吉宗周宇大齊平武笠手一小石上豊一高鈴浦野中山吉間松山竹尾岸林佐桑塚田西阿級池徳工本嶋井原瀬村内篠立ミ木村壁森比藤方西井杉田子原園武 ひ内原原井千千威久木岩居井塚 柳澤條田丸橋木田沢山岡浦宮鍋本田崎本真々島田村川部田竹原惠文優美し良良薰明ス楓陽佳か賀葵尚住優朋龍永多和 よ芳三由岳美榮美利保祐菜典瑞恵実水卓と真す禮恵卓夏美敬順隆加愛雄早由木花愛光原泰 惠玲	「杉笠一大有練」「華硯光杉星桜芙聲成杉大蒲大錦秋柏平書」「光美有皓、西珠玄大葉東大景」「玄杉瀬霞曉」「北華光玄月」「大硯茅玄笠霞大倚」成帯若富一小原路阪象馬 雪丘 森一 城 淀田手黃川芳集潮 丘宛象花7 級吉川岩相寺那中柳加石藤佐宮竹鮎水窟堀神伊藤黄飯上小小田宇染色 酒美增石菊吉下津野塚部中林原山田藤谷上會久木村戸林熊澤輪澤村澤角野木藤田橋木田口崎澤須本井澤藤川沢藤部本村川野内崎藤田海鳴原坂林中野谷 井原山地澤昂益月希浩千晴聰由由綾理友然保弘野弘牧正信未桂真友亥す十二裕千智直文	柳根西手磯廣小松栗森斎三川渡上征榎藤高大神三柳市中河羽鈴高須吉高和	級吉松川岩相寺那中柳加石藤佐宮竹鮎水窟堀神伊藤黄飯上小小田宇染色 酒美增石菊吉下津野塚部中林原山田藤谷上會久木村戸林熊澤輪澤村澤角野木藤田橋木田口崎澤須本井澤藤川沢藤部本村川野内崎藤田海鳴原坂林中野谷 井原山地澤昂益月希浩千晴聰由由綾理友然保弘野弘牧正信未桂真友亥す十二裕千智直文	○○○○○								

第56回

書 略 展

特別企画 俊英選抜五人展

特別コーナー 第48回全国学生書道展



会期：2017. 6. 15(木)～6. 25(日)

午前10時～午後6時 休館日6.20(火) 入場は午後5時30分まで

会場：国立新美術館 2階C. D展示室

〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

TEL. 03-6812-9921

主催：書象会

後援：読売新聞社

公益社団法人 全日本書道連盟

会期中、ギャラリートーク・全国学生展・講評会・支部長講習会・実技講習会を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは、P21を参照下さい。

▲書展予告▼
☆第42回泰山門書道展
会場五月二十日(土)～二十一日(日)
会場塩尻市市民交流センター「えんぱーく」

☆時に気ままに書を楽しむ二人展
会場六月三十日(金)～七月四日(火)
(JR八王子駅北口前)

☆時に気ままに書を楽しむ二人展
会場八王子市学園都市セントラル十一階
出品者西野江月 菅原暁聲

▲書展報告▼
☆第44回日本の書展茨城展
会場四月十五日(土)～二十日(木)

会場高瀬霞山 大山虹霞 高瀬秀琴(本会関係)
出品者杉並書道人協会

会場四月二十二日(土)～二十五日(火)
セシオン杉並

◇第34回讀売書法展関係運営日程
△添削会(持參作品は一人五点以内)
五月二十一日(日) 杉山曉雲 古賀沙苑 杉山窓影 牧野蘭庭(本会関係)

五月二十八日(日) 午後一時～四時
六月二十五日(日) 武藏野市民文化会館
六月二十五日(日) 国立新美術館3階研修室
十時～十五時
十時～十五時
十時半～十五時

●出品表提出は六月四日(日)です。
郵送される方は五月三十一日(水)までに、それ以外の方は六月四日(日)に
必ず持参してください。

◇最終選考会
七月二日(日) 武藏野公会堂 午前十時
△地方添削会
長野地区 五月二十一日(日) 午後一時～四時
山形地区 五月二十八日(日) 午後一時～四時
会場山形市あこや会館

氏名	發行人	代表	上條	牧野蘭庭(本会関係)
印刷所	振替口座	振替口座	節	高瀬秀琴(本会関係)
株式会社	郵便番号	郵便番号	上	杉山窓影
リンクス象	電話	電話	条	古賀沙苑
象	九四三	九四三	書	杉山曉雲
九一	一九〇一七一	一九〇一七一	有	武藏野市民文化会館
九一	一九〇一七一	一九〇一七一	有	國立新美術館